

# 地 図

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

<b>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
<b>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 社会的事象について、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができるよう工夫されているか。
	(5) 主題図や統計、写真等は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を支える上で、適切な内容、構成、表現方法であるか。
<b>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長</b>	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	帝 国
1 性 本 計 画 の 育 成 の 趣 旨 ・ 理 念 や 第 三 期 長 崎 県 豊 か な 人 間	(1) てすす成「一教 いる人「一教 る内「一育 か容」本「の 構の教目目 成育標的 と成が「」 な目及 につ資指違び	<ul style="list-style-type: none"> <li>「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう!」では、持続可能な開発目標の概要を写真付きで紹介したり、「現代的な諸課題」では、SDGsに関連する資料を提示したりすることで、社会や国家の諸課題を自らの問題として捉えさせ、様々な取り組みに積極的に参画し、自ら解決を図ろうとする態度を養う構成となっている。</li> <li>「日本の人口」では、日本の人口分布や老年人口の割合、人口の増減率などを示す地図を同縮尺で配置し、出生数や合計特殊出生率の推移、老年人口の割合と高齢者数の推移などを示すグラフを併せて掲載することで、資料を相互に関連付けながら読み取り、自身の課題として捉えやすい構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の資料のページで、「日本列島」の地図や「観光・スポーツ」、「日本の歴史遺産」、「日本の生活・文化」の資料を、巻末ページで、日本の領土に関する写真や資料を掲載することで、我が国と郷土の歴史や伝統文化などについての理解を深めることができる構成となっている。</li> <li>地形、防災、歴史の視点から大阪府や東京都周辺を地勢図で表したり、「日本の自然災害・防災」のページを掲載したりすることで、過去の地震の分布や自然災害に対する備え、ハザードマップを事例にした防災に向けての取り組みを分かりやすく示し、命を重んじる態度の育成に資する構成となっている。</li> </ul>
	(2) か題め然統ふる 材に・る が学つ文化 扱習い化と われ理歴長 てか解史崎 いせを るる深自伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>大浦天主堂やマリア観音、長崎の出島や端島(軍艦島)、九州地方のキリシタン大名など、長崎県が有する二つの世界文化遺産の構成資産が写真と地図で紹介されている。また、「原子爆弾投下時の長崎」が掲載されており、爆心地からの距離と被害状況が分かりやすく扱われている。</li> <li>「日本の自然環境」では、日本の気象記録に長浦岳(長崎県長崎市)、主な火山に雲仙岳、国立公園やジオパークに西海や雲仙天草が、「九州地方の基本資料」では、びわや造船、波佐見の磁器などが絵記号で掲載され、長崎県の自然と産業に関わる題材が扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の歴史遺産」では、大浦天主堂が写真とともに地図中に掲載されているほか、出島やオランダ商館跡、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の位置が記されている。「日本の生活・文化」では、各地方の特色ある祭り・行事として長崎くんちがイラスト付きで掲載されている。</li> <li>「九州地方の資料」では、びわやじゃがいもの産地を示す絵記号、原爆による被害や現在の土地利用、世界遺産の位置などを示す長崎市の鳥瞰図が掲載されている。また、普賢岳の噴火による被害と防災施設を示す鳥瞰図が掲載され、火山災害に対する備えを考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>
2 る 学 習 指 導 要 領 の 目 標 や 内 容 等 を 踏 ま え て、 確 か な 学 力 の 育 成 を 図	(1) れでに知基 てき習識礎 いる得・的 よす技・ か。工を本 夫と確的 さが実な	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や図が豊富に掲載され、説明文も簡潔に記載されており、生徒が地域の様子をイメージしやすいよう工夫されている。また、人口ピラミッドの作図や地形図の読み取り、デジタルコンテンツを活用した学習への促しなど、知識を確認したり深めたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>世界遺産や歴史の舞台に関する地名を表記し、地理的分野・歴史的分野・公民的分野との関連を図ることを通して、基礎的・基本的な事項を習得することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図の掲載範囲を広げたり、多くの資料を掲載したりして、各ページの内容を充実させることで、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る工夫がなされている。また、世界の各州ごとの鳥瞰図を掲載し、一般図と比較することで、地域の自然や人々の生活の様子をイメージすることができるよう工夫されている。</li> <li>巻頭に「地図帳の使い方」を掲載し、地図の要素や種類、検索の使い方が分かりやすく説明してあり、実際の地形図を活用して地形図の見方を身に付けられるコーナーを設けるなど、地図を活用する技能を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) る育判めて知 かよ成断に課識 うす力必題・ 工る、要を技 夫こ表な解能 さと現思決 れが力考す活 てで等力等用 いきを、たし	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して、関連する資料のページを示した「ジャンプ」の項目があり、複数の資料との比較や関連付けを通して、資料活用の技能を高め、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>世界や日本のテーマ資料が掲載され、多面的・多角的に地域間の特色を比較することができる。また、キャラクターの吹き出しには、資料を読み取るヒントや思考を深めさせる問いを記すことで、グラフや資料を基に、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図活用」のコーナーで、地理的な見方・考え方を働かせる問いを示し、地図や資料を読み取りながら課題を解決する学習を促すことで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>各州や各地域の資料のページに、関連するテーマごとに複数の主題図を同縮尺で並べて配置することで、生徒が地図を比較・関連付けて読み取り、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	(3) 工る組主 夫こむ体的 さと態的 れが度に てでを学 いき身習 るのに かよ付取 うけり	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な諸課題について、国際社会で活躍する日本人の紹介やSDGsと関連させて、「持続可能な社会」の実現のためにこれから自分がどのように生きるのかを考えることで、主体的に課題に迫り、解決しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>写真や図を豊富に掲載したり、「Dマーク」を付けてデジタルコンテンツの参照を促したりして、学習課題に応じて情報を調べることができるようにすることで、生徒が主体的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料のページに「学習課題」を示すことで、そのページに掲載されている資料について、選択や比較、考察の視点を明らかにすることで、生徒の興味・関心を高め、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>紙面タイトル横に二次元コードが掲載されており、学習課題に応じて情報を調べることができるようにすることで、生徒が主体的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

地図

観点	発行者	東 書	帝 国
<p>2 確かな学習指導要領の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 夫と能に、社会がを調、社会的情報事象に身まを付、効果的につく果つ工技的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの資料に「ジャンプ」の項目を設け、関連資料や類似資料を調べたり、比較したりすることが容易にできるようにすることで、情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>巻末の索引では、地名索引と資料索引を掲載し、資料索引を地形、気候、産業などの項目ごとに示すことで、情報を効果的に調べることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境、防災、日本との結びつきをテーマとして取り上げ、資料図にテーマを表すマークを付けて掲載することで、社会的な事象についての情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>調べ学習を補う豊富な主題図・統計資料を多数掲載することで、必要な情報を調べたり、まとめたりしやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(5) 現切動りせ方等主方な解、・は題法内支決課考、図で容えし題考、やある、るたをえ方、統計構成上り追方会的、成で、す究的、るし働な写表適活たか見真</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各州や各地方の基本資料の次にテーマ資料のページを設けたり、教科書との連携を意識し、学習課題に沿って詳細な資料を多数掲載したりすることで、多面的・多角的に社会的な事象を捉えることができる構成となっている。</li> <li>各州や各地方の一般図のタイトルには、「注目したい記号」が示されており、課題追究の視点として活用することで、その地域の特徴が読み取りやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図活用」や資料図での「学習課題」のコーナーでは、問いや課題解決のための視点を示すことで、社会的な見方・考え方を働かせたり、課題の解決に見通しをもって活動したりできるような内容となっている。</li> <li>統計資料では、上位・下位それぞれ5か国の数値が色分けや太さで明確に示されており、課題を追究する上で読み取りやすい表現方法となっている。</li> </ul>
<p>3 の学習効果や使いやすさ、表現や体裁の特長</p>	<p>(1) か述とや文章ともす、くは、適、て切質分、いな、かる記量り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料やグラフには、簡潔な説明文が添えられており、資料を効果的に活用させるために、分かりやすく記述されている。</li> <li>地図帳の活用方法が詳しく記載されるとともに、資料を読み取る視点については、生徒が読み取りやすいようにキャラクターの吹き出しを用い、会話形式で記述されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章や語句は分かりやすいものであり、「地図活用」や「学習課題」のコーナーの記述も適切な量で記述されている。</li> <li>地図中に絵記号やイラスト、写真が多く掲載されており、必要な情報が一目で視認でき、凡例や説明は簡潔に表現されている。</li> </ul>
	<p>(2) る十関にをな写か分連、高ど真、配や学め、挿慮学習る、学絵さ習内と習、意図れ効容と意図て果とと意図いにも欲表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通して写真が多数掲載され、簡潔な説明と合わせて、生徒が読み取った内容を視覚的にイメージできるようにすることで、生徒の学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>「歴史の舞台・九州地方」、「ピックアップTOKYO」など、地理的分野の学習と、歴史的分野・公民的分野の学習を関連させるページを設けることで、各分野の学習を深め、効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形の特徴が捉えやすいように、標高や陰影による色分けを合わせて使い、大きく色鮮やかな立体感のある表現がされている。また、鳥瞰図を多数掲載し、一般図と比較することで、生徒がその地域をより具体的にイメージすることができるよう配慮されている。</li> <li>歴史的分野や公民的分野の学習内容に関連する地図や統計資料を掲載することで、学習内容を相互に関連付けながら、効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) かに等の文レ配に活字イ慮つ用のア慮、大ウ慮、紙きとヤ、は、質、色、い適製挿彩、る切本絵</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や資料は陰影を抑えたシンプルなデザインにするとともに、容易に見分けられる色の組み合わせを取り入れることで、見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>A4判で、全体の構成を世界、日本、統計、索引の四つに大別して色分けし、各ページのインデックスも地域ごとに色分けすることで、地図や資料を容易に検索することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地勢図、鳥瞰図に用いられる文字や絵記号は、デザインを大きくしたり、色彩を明るくしたりすることで、見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>A4判の判型を用いて各ページの資料を充実させることで、多様な視点から地域の特徴を捉えることができるよう配慮されている。</li> </ul>